

幼児教育や子育てで 愛教大と豊田市協定 人材交流を促進

愛知教育大(刈谷市)と豊田市は四日、幼児教育や保育、子育て支援分野で協力を深める協定を結んだ。新型コロナウイルス感染症拡大で学生の実習先確保が難

しくなっている中、豊田市はできる限り受け入れに協力し、担い手の育成・確保に努める。

愛教大は保育士や幼稚園教諭らを育成し、地域に輩出。市はこども園で学生の実習を受け入れてきた。

協定を基に人材交流を一層促進。具体的には、市の

子育て支援施設のボランティアとして学生に経験を積んでもらったり、大学の講座や説明会に現役の保育者を派遣したりすることを検討する。大学が保育者の資質向上に協力し、教員が研修講師を務める案もある。市役所で開かれた締結式で、野田敦敬学長と太田稔彦市長が協定書に署名した。(神谷慶)



協定書を持つ野田学長(左)と太田市長
豊田市役所で